

コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー 2023

Grand Prize Company/ Winner Company 選定プロセス

概要

東京証券取引所プライム上場企業を対象とし、コーポレートガバナンスを用いて、中長期的に健全な成長を遂げるために、取締役会の改革を実践している企業、コーポレートガバナンス・コードを遵守し、CGSガイドラインを踏まえた取り組みを行う企業を表彰します。

表彰社数は、Winner Company を選定し(3 社)、うち 1 社を Grand Prize Company として選出し公表します。毎年 1 回、表彰を行います。

実施内容

審査のポイントは、審査において、1)コーポレートガバナンス・コード全原則¹が適用される東証プライム上場企業(1,833 社、2023 年 8 月 1 日現在)の中から、2021 年～2023 年を通じて独立社外取締役 3 名以上を選任していた企業 1,760 社を対象に、2)稼ぐ力の指標として、非金融 3 期平均 ROE10%以上²、ROA4%以上³、金融 3 期平均 ROE10%以上、ROA2%以上、また 3)社会への貢献度の指標として時価総額 2,000 億円以上である企業 172 社を選びました。

次に加点要素として、4)ガバナンス体制整備⁴の指標として、特定の大株主がいない、開かれた株主比率(30%以下)、独立社外取締役比率(3 分の 1 以上)、組織形態(指名委員会等設置会社)、指名・報酬委員会(任意も含む)の設置、5)取締役会の多様性(女性役員、外国人役員の人数)、6)指名・報酬委員会(任意も含む)委員長の独立性、取締役会議長の執行からの独立性、7)パフォーマンス評価として、みさき投資による経営指標分析を活用、時価総額や営業利益の安定性などの総合評価を行い、Winner Company 3 社を選出しました。

最後に 8)審査委員によるトップマネジメントへのインタビュー調査を行い、Grand Prize Company 1 社を決定しました。

候補企業群の経営力の判定には、みさき投資の企業分析の枠組み「みさきの黄金比®」を活用しました。これは経営指標間のあるべき関係、「 $ROE \geq ROIC \geq ROA \geq WACC$ 」を示した式で、左から「事業リスクに見合った財務リスクの取り方」「余剰資産を持たない経営」「資金提供者の期待リターンを上回る資本生産性」という観点を満たしているかを評価する枠組みです。

みさきの黄金比®								
企業名	時価総額 (億円)	ROE		ROIC		ROA		WACC
味の素	29,663	11.9	≥	8.7	<	8.9	≥	5.9
荏原製作所	6,292	13.5	≥	13.4	≥	8.6	<	9.7
セイコーエプソン	9,192	11.6	≥	9.1	≥	7.2	≥	6.7

※ みさき投資株式会社 『働く株主®』をコンセプトとしたエンゲージメント投資を専門とする資産運用会社。2013 年に設立され、現在企業年金・大学基金など国内外の投資家から資金を受託し、日本の優れた上場企業 10 数社に厳選した長期投資を行っています。

¹ 令和 3 年 6 月再改訂。

² 伊藤レポート「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築」プロジェクト最終報告書(2014 年 8 月)。金融業は ROA など他の指標も考慮する。

³ 2021～2023 年度は新型コロナウイルス感染症の業績への影響を勘案して、2020 年度より ROA を 1%下げて 4%に設定した。

⁴ コーポレートガバナンス・システムに関する実務指針(CGSガイドライン)(2022 年 7 月再改訂 経済産業省)の重要項目を考慮する